

<今日の説教のポイント 創世記 31 章 1 節～21 節>

①聖書を深く読む — これまでの箇所から 身から出た錆では？

ヤコブは義父から搾取され、義兄からは誤解されて可哀想でしょうか (1-2)? 否、これまでにヤコブがした悪しき策略を思うと、それはヤコブの身から出た錆なのではないでしょうか。

②聖書を深く読む — 今日の箇所から 富への執着が過ぎるのでは？

この辺りを読んでみると妙な気がして来ます。ヤコブの財産獲得への執着にです。聖書はなぜそんな気を起こさせる書き方をしているのか、と考えてもいいです。当然、この後を読まなければなりません。

③聖書を深く読む — この後の箇所から その理由はあった！

次の 32 章では、ヤコブが兄エサウの報復を異常に恐れていた様子が、これでもかと言うほど、描かれて行きます。そこに記されています。沢山の財産を差し出して、兄の怒りをなだめようとするヤコブの姿が！賢く立ち回るヤコブでしたが、大きな悩みと不安も抱えていたのです。

④聖書を深く読む — 聖書が語る結末から 取り越し苦労！

しかし、その後の 33 章を読みますと、最後に大きなどんでん返しが出ていました。なんと、エサウのヤコブへの恨みや怒りは全く消えていたのです！「**弟よ、私の所には何でも十分ある。お前のものはお前が持っていなさい**」(33:9)。大きな不安は取り越し苦労だったのです。

⑤こんなヤコブを見捨てられない神様。 それは私のこと！

今日の箇所のテーマは、「神様はなぜこんなヤコブに愛想を尽かされずに**「私はあなたと共にいる**」(3)と言いつけて下さったのか」です。その答は、「聖書が示す神様がそのようなお方であるから」としか言い様がありません。そして、私たちは色んな姿を示したヤコブに自分を重ねなければなりません、重なるはずです。同時に、こんなヤコブを神様が見捨てず共にいて下さったことも私たちに重ねていいのです！ 私たちも、ヤコブと同様、色んな失態をしでかしますが、この隣れみに富む神様を信じて歩める道が用意されているのです！ 神様に感謝です。